

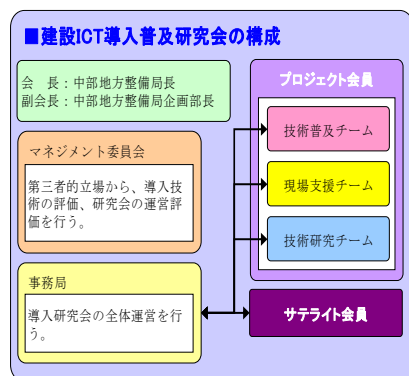
4. 中部地整における建設ICT導入普及の取り組み

建設ICT導入普及研究会 田村副会長
(中部地方整備局 企画部長)

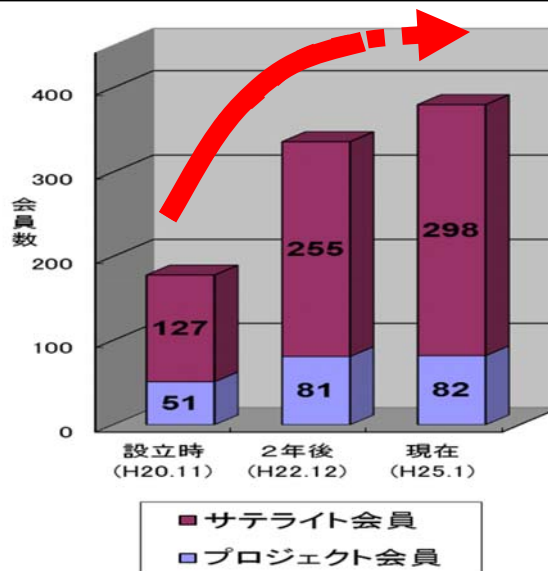
1

建設ICT導入普及研究会

- 情報化施工の戦略的な普及・促進を図るため、国土交通省では「**情報化施工推進戦略(H20～H24 5ヶ年間)**」を策定(H20.7)。
- 中部地方整備局では全国に先駆け、H20.11産学官による「**建設ICT導入研究会(H23.1以降は建設ICT導入普及研究会)**」を設立し、ICT技術の導入・普及を推進。
- 一連の建設生産プロセス(調査・設計・施工・維持・管理)においてICTを活用することで、効率化・高度化など生産性向上に取り組んでいる。



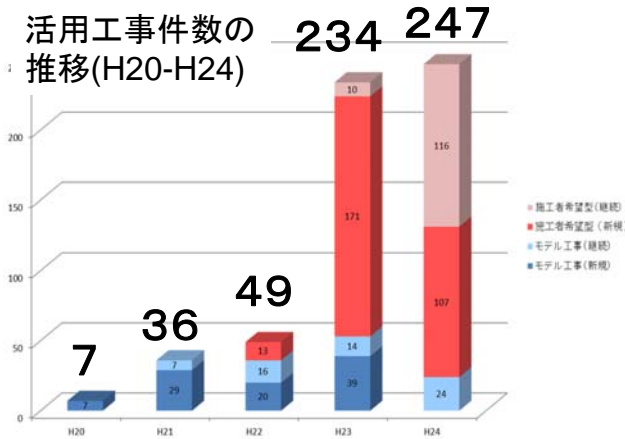
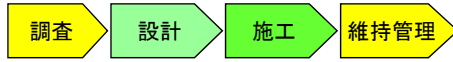
- 近年の主な新規会員
「地方自治体」
「建設企業」
「開発企業」
「個人」



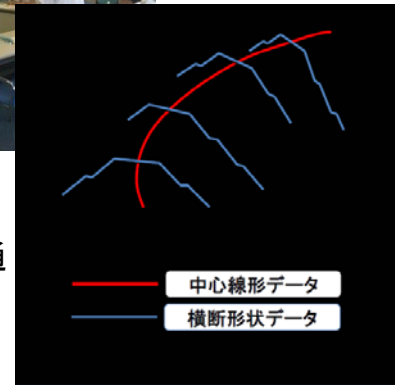
2

中部地整における建設ICT技術導入状況

- H20以降**モデル工事の管内事務所全面展開(毎年40件程度)**とモデル工事見学会によるICT技術の普及推進。
- 「土工」と「舗装工」において活用されるICT技術について従来施工と比較し同等以上の効果が確認されたため、全国の一般化(H25年度～)に先立ちH24年度において**標準的な施工方法(中部標準化)**とする(H24年度 約〇%の工事においてICT活用実績有り)。
- H24は「**ICT活用工事における監督・検査要領等の周知**」と「**3次元データ流通ルールの検討**」を進めてきた。
- H25以降も次期推進戦略に基づき、建設ICT技術の普及・推進を継続。



3次元データ流通ルールの検討



データのイメージ図

研究会における建設ICT推進体制(6WG - 8PT)

個別課題に対し、早期にICT技術の導入・普及を図るため、ワーキング体制(6WG - 8PT)を組織し、課題の解消等に重点的・計画的に取り組んでいる。

建設生産プロセス	ワーキング名	設置プロジェクトチーム(PT)名称と内容
調査	(全工程にわたるWGで実施)	-
設計	設計施工見直しWG	情報化施工データ活用検討PT: 3次元設計データ活用での検証。モデル業務の実施
施工	技術普及WG	技術普及活動PT: 現場見学会、セミナー等の計画・開催とICTサイトでの情報発信
		技術者育成PT: 技術者育成プログラムの検討・策定と同研修の実施
	現場支援検証WG	現場支援PT: モデル事業の適用技術導入支援
		モデル事業検証PT: モデル事業の現場の効果検討・検証
監督検査・施工管理見直しWG	監督検査・施工管理見直しPT: ICTを活用した効率的・効果的な監督検査方法の検討・実施	
情報一元化WG	情報共有システム効果実現PT: 情報共有システム(ASP)の活用による効率化検討・検証	
維持管理	(全工程にわたるWGで実施)	-
全工程	建設マネジメント研究WG	調査・計画・維持管理段階ICT導入技術検討PT: 導入可能性技術の検討

